

様式第3号（第10条関係）

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回しらおか男女共同参画推進会議
開催日	令和7年11月20日（木）
開催時間	午前9時30分から午前11時まで
開催場所	白岡市コミュニティセンター集会室3
会長の氏名	しらおか男女共同参画推進会議 須永 久恵
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	しらおか男女共同参画推進会議委員 須永 久恵、吉野 高男、浅野 悦子、古澤 明美、佐藤 有貴、 宮内 由美子、桃井 身代子、原田 博子、寺井 純子、栗原 洋 以上 10人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	しらおか男女共同参画推進会議委員 田口 光莉 以上 1人
説明員の職・氏名	地域振興課 人権担当主任 安藤 寛子
事務局職員の職・氏名	生活経済部長 小船 伊純 地域振興課課長 岡村 清 地域振興課 主幹 長島 雅治 地域振興課 人権担当主査 加藤 誠也 地域振興課 人権担当主任 安藤 寛子
その他会議出席者の職・氏名	傍聴者 0人
会議次第	1 開 会 2 議 題 「白岡市男女共同参画に関する市民意識調査（案）」の承認について 「第5次白岡市男女共同参画プラン令和6年度報告書の評価・点検」について（グループワーク） 3 そ の 他 4 閉 会
配布資料	・会議次第 ・資料1 「白岡市男女共同参画に関する市民意識調査」ご協力のお願い（案） ・資料2 グループワーク グループワーク1・2の意見 ・資料3 第5次白岡市男女共同参画プラン 令和6年度 報告書 ・資料4 第5次白岡市男女共同参画プラン 令和5年度報告

	書の評価・点検
--	---------

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岡村課長	<p>1 開 会</p> <p>地域振興課岡村課長の進行により開会された。</p> <p>挨拶</p> <p>須永会長から挨拶がなされた。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日、男女共同参画推進会議委員の田口委員さんは都合により欠席の御連絡をいただいております。</p> <p>本会議は、市の公式な会議でございますことから、会議は原則公開となります。会議録及び会議資料は事務局が精査し、市公式ホームページにて公開します。発言者の表記につきましては、実名ではなく、A委員、B委員という表記で掲載いたしますので、御了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは、ここで傍聴人の入室を許可したいと存じます。</p>
岡村課長	<p>2 議 題</p> <p>それでは議題に入ります。</p> <p>議題の進行について、男女共同参画推進条例第22条の規定により、会長が会議の議長となります。須永会長に、議長をお願いいたします。</p>
須永会長	<p>それでは、議題でございます「白岡市男女共同参画に関する市民意識調査（案）」に関する承認について事務局から説明を求めます。</p>
事務局	<p>（説明）</p>
須永会長	<p>説明が終了しました。</p> <p>事務局から説明のありましたとおり、1名の委員から御意見がございました。</p> <p>委員の御意見の写しを御覧いただきますと、問11 1. 「結婚や出産に関わらず、必要に応じて、産休・育休・介護</p>

A委員	<p>休業などを利用しながら仕事を続けるほうがよい」を、「結婚や出産、介護に関わらず、産休・育休・介護休業などを利用しながら仕事を続けるほうがよい」というように、介護休業の言葉を受け、「介護」の単語を入れると文章を結びつけやすいのでは、という点と、「必要に応じて」は無くてもよいのでは、という御意見がございました。</p> <p>皆さん、こちらの案について、御意見ございますか。</p> <p>御指摘のとおり、やはり後ろの文面を考えると介護の言葉が入った方がよいと思います。また、必要に応じてという言葉については、必要ではない人もいますので、どうかな、と思いました。その人だけではなくて、御家族や他の何かで見られるような状況で必要ではないかもしれないので、そこはよいのかなと思いました。</p> <p>介護の言葉は入れた方がよいと思います。</p>
須永会長	<p>介護休業というのは必要な言葉であると思いますね。</p> <p>他に御意見ございますか。</p>
B委員	<p>A委員の意見に賛成します。</p>
須永会長	<p>他に御意見ございますか。</p>
C委員	<p>これは私が家で読んでいて、気になって書かせて頂いたものなのですが、時間が経ってもう一度読み返しても、「介護」はこのままつけてもよいのかな、と。「必要に応じて」について、自分が意識した時は、積極的に介護休業等を取る社会づくりのためには必要なのではと考えたものですから。まあ行き過ぎた考えだったとも自分の中ではどちらも皆さんのおっしゃるとおりで大丈夫ではないかなと思います。その後ひっかかってしまって、結婚や出産介護に「関わらず」という言葉がですね、うまく繋がってないのではとも思い、結婚や出産、介護に「際し」でよいのではないかなと思いました。</p>

A委員	「際し」の方がよいかもしれないですね。
須永会長	<p>C委員からのお考えが示されました。</p> <p>「結婚や出産、介護に際し、産休・育休・介護休業などを利用しながら仕事を続けるほうがよい」というものでした。</p>
C委員	結婚や出産、介護に「おいて」とか「際し」とか
A委員	私は「おいて」の方が表現は柔らかいのではないかと思います。
須永会長	<p>今出た御意見に変更するというのはA委員、B委員、C委員からよいのではないですかという御意見がありました。</p> <p>あとは、「際し」「おいて」という言葉の使い方になるのですが。</p> <p>事務局、今ここで決定させますか。</p>
事務局	<p>そうですね、今ここで決定をお願いします。</p> <p>「おいて」なのか「際し」なのか「結婚や出産、介護において、必要に応じて、産休・育休・介護休業などを利用しながら仕事を続けるほうがよい」がよいのであれば。「際し」の方がよろしいですか。</p>
A委員	「おいて」の方がよいと思います。
C委員	「関わらず」というと少し引っかけますね。
A委員	やはり「おいて」の方が表現は柔らかいですね。
須永会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「介護」をいれて、「おいて」という表現にし、「結婚や出産、介護において、必要に応じて、産休・育休・介護休業などを利用しながら仕事を続けるほうがよい」と</p>

<p>須永会長</p>	<p>いう表現にします。事務局は対応をお願いします。 皆さん、貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次の議題でございます、「第5次白岡市男女共同参画プラン令和6年度報告書の評価・点検（グループワーク）」について事務局から説明を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>(説明) (グループワーク開始)</p>
<p>事務局</p>	<p>(1時間後、グループ席にて) それでは、時間となりましたので、各グループで出た意見を発表者に発表していただきます。 では、グループ1からお願いします。</p>
<p>D委員</p>	<p>グループ1は、全体的な意見として男女参画というのは、未来を楽しくするための共同作業ではないかと考えました。</p> <p>I 男女共同参画の意識づくりのうち、男女共同参画及び多様性に関する意識啓発に関しては、若い人たちが参加して頂けるような発信方法にもう少し力を入れた方がよいという意見がありました。</p> <p>また、しらおか男女共生広報紙「ハーブティ」については、委員の中に編集に携わった方がおり、広報紙の歴史や女性の意識向上のために立ち上げた、と意図を伺いました。現在は編集委員がおらず編集の維持が難しい状態とのこと。 「ハーブティ」のみならず、市民の方が楽しく参加できる方法の模索が必要だと思います。</p> <p>II ワーク・ライフ・バランスの取組における、男性の家庭参画の推進として、実践的な学習の場となる講座については、高齢者の参加が多い結果のため、若い人にも興味が持てる講座の実施をしてみてもどうかという意見がありました。</p> <p>また、男性の育休取得促進に関しては、市や大手企業が100%育児休業を取得している状況ですが、中小企業等は、まだまだそれが浸透していないという意見もありました。</p>

事務局	<p>男女共同参画社会の実現のためには、小さな頃からの教育や、社会づくりが大切です。</p> <p>今でも男性、女性という無意識の思い込みが根強いですが、自分の考えが偏っていないか意識し、行動することが自分らしく生きる社会へつなげられると思いました。</p> <p>それでは、グループ2をお願いします。</p>
B委員	<p>グループ2としては、Ⅲ 一人一人が活躍できるまちに関して、施策番号27番、地域活動・生涯学習機会の提供として、区長会、あるいは自治会の役員出席者がほとんど男性で、女性の関わりが少ない。意見が男性目線のため、女性目線が入った方がよい。女性の意識を変える必要がある。また、身近な集まりでは、女性がリーダーになりにくい。これは歴史的な問題や、高齢者の古い男女感覚が後継者に引き継がれている問題がある。高齢者の考え方を考えるよりも若い人が育つのを待つのがよいのでは、という意見がありました。</p> <p>Ⅳ誰もが安心して暮らせるまちに関し、あらゆる暴力・ハラスメントの根絶、施策番号34、子どもへの虐待防止対策の推進として、保健センター等身近な行政が主力となる必要がある、全ての人に対して優しい社会が必要であるという意見がありました。</p> <p>施策番号35、高齢者への虐待防止対策の推進として、老々介護が原因で介護疲れや虐待が発生する場合もある。若者と高齢者、中高年の分断が図られている。これは、非正規雇用や少子化も起因しており、男女共同の家庭が基本で、豊かさがないと少子化は止まらないという意見がありました。</p> <p>施策番号37、性犯罪・性暴力防止の啓発として、DVはやはり男性から女性への暴力が多い。これは古い固定観念を変えることが必要。また、性犯罪、デートDVについては、性が商品となっているという意見がありました。</p> <p>Ⅴ計画推進の体制づくりの中の、市の推進体制の充実として、施策番号41番、女性職員の管理職等への登用促進に関しては、市役所における女性職員の割合は39.7%。そ</p>

	<p>のうち、女性の係長級が22.4%、管理職に限ると5.7%。</p> <p>学校では、女性の職員が小学校では70%、中学校では50%であるけれども、管理職はやはり2、3人程度。これはむしろ女性に管理職になることを断られてしまう。一つの例としては、教育に適している人は、管理職になりたがらないという内容の話がありました。</p> <p>市役所については、市役所の女性職員が管理職になることに積極的ではない。これは管理職に魅力がない。やるが多すぎるということで、仕事を減らす必要がある意見がありました。また、女性がフルタイムとして働くには、祖父母等が手伝わないと成り立たないという意見もありました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは会長、副会長、部長、課長、事務局は席を移動させていただきます。</p>
岡村課長	<p>須永会長さんにおかれましては、スムーズな議事の進行、大変ありがとうございました。また、今回、各グループで出た意見につきましては、事務局で説明がありましたとおり、意見をまとめたものを委員の皆様事前に御確認いただき、次回の会議の時に点検・評価の結果として報告をさせていただきます。</p> <p>続きまして次第の3、その他でございますが、事務局から2点お知らせとお願いがございます。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
岡村課長	<p>以上をもちまして、令和7年度第3回しらおか男女共同参画推進会議を終了させていただきます。</p> <p>閉会のことばを、吉野副会長さんをお願いいたします。</p>
吉野副会長	<p>(閉会のことば)</p>
岡村課長	<p>ありがとうございました。みなさま、お気をつけてお帰りください。</p>